

平成13年度当初予算 基本事務事業目的評価表

【基本事務事業名】 多様な文化創造の環境づくり (201)

【評価年月日】 平成12年11月13日

【担当部課名】 生活部文化課

【記入課名 課長名】 文化課・吉川新・059-224-2496

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策 : (- 3) 文化・スポーツの振興

施策 : (1) 人と地域を支える文化の振興

総合計画の目標項目 : 県民文化祭の参加者数・文化振興基金による助成件数・市町村イベント支援事業
日常的な文化活動のための施設開放 (学校を中心とした施設開放)

波及効果 副次的効果を及ぼすと考えられる施策 : 三重歴史街道構想の推進

2 基本事務事業を巡る環境変化 (過去、現状、将来) (再掲)

物質的な充実から豊かな心の充実への意識の変化

経済不況による県税収入低下に伴う財源不足

週休2日制等による余暇時間の増大

自己実現を求めるボランティア活動

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図 (何をどういう状態にしたいのか)

県民の文化活動の場、相互交流の機会がふえ、自主的文化活動が展開される。

3-(2) 成果指標名・成果指標式 (総合計画の目標項目には*を付す)

多様な文化創造度

$$\frac{\text{文化活動の参加者数}}{\text{県人口}}$$

(代) 県民文化祭への参加度

$$\frac{* \text{ 県民文化祭参加者数}}{\text{県人口}}$$

変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3) 設定した成果指標に関する説明 (指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など)

文化活動の参加者数は各種文化事業を行う者や観る者をも含んだ数であるが、把握が困難なものであり、代替指標として県民文化祭への参加度を採用した。

3-(4) 結果 (施策における2010年度の目標)

住民の文化に対する関心が高まり文化活動を親しむ人 (演じる人・支える人・見る人) が増え、それとともに地域の活性化・文化の質的向上が図られる。

県民文化祭の参加数 20万人

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度 (H11年度) における基本事務事業の結果評価

前年度に行った内容と成果

第5回県民文化祭を11市18町村で実施し、参加者170,619名であった。

文化振興基金による文化団体への助成は、申し込み件数52件のうち23件助成を行った。

市町村イベント補助金は、みえ歴史街道フェスタを県が実施したことに伴い支援件数が72件と大きく伸びた。

顕彰事業では、個人17人、団体6団体が対象となった。

前年度に残った課題

県民文化祭の実施状況が官主導の傾向があり、地域と一体となった事業内容とする必要がある。文化振興基金の果実収入の減少。

4-(2) 本年度(12年度)における基本事務事業の見込み評価

本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

・平成11年度に県民文化祭の実施方法等について検討委員会を設置し検討した結果、三重県文化団体連合会が運営母体となり、演じる側、観る側、支える側が三者一体となって企画運営にあたり、より一層の県民総ぐるみの県民文化祭とすることを決定した。平成12年度に入り検討趣旨に添った具体的な企画運営に取りかかり、文化団体連合会に総務委員会、事業委員会、振興委員会を設置し、県民文化祭を実施するうえでの各業務を担当し企画運営を行うこととした。

・見込まれる成果としては、文化団体連合会を中心にした民主導の自主的な県民文化祭の開催が可能となる。

・市町村イベント補助金について、メモリアルイベント・民間団体支援助成制度など、32件の支援を実施した。

・文化振興基金活用事業は選定方法の見直しを行い、申請条件の明確化により、制度の透明性を図った。

・顕彰制度の見直しを行い、新年度から新しい文化顕彰制度により実施することとする。

本年度残ると思われる課題

・文化団体連合会を組織する各文化団体により、県民文化祭への取り組みに格差があり、文化団体の平均した関与が求められる。

・文化振興基金への申請件数の増加に伴い、財源不足の中で基金造成のPRなど対応を検討する必要がある。

・地域住民、文化団体、行政が協働で事業の展開を図るとともに、協賛事業もよりいっそう増やす。

・県民文化祭に参加する文化団体のリーダーを対象に講習会・事例研究会等を開催できるように指導する。

5 基本事務事業の改革方向

・文化振興基金の財源不足対応。

・県民文化祭の実施を文化団体主導で行い、地域とともに実施する。

6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等(千円)		必要概算 コスト(千円)
	目標	実績		所要時間(時間)		
前々年度 (H10年度)	98/1,858 0.053	100/1,858 0.054	98,000	388,717 8,500	424,247	
前年度 (H11年度)	104/1,858 0.056	170/1,858 0.091	98,000	362,982 7,200	393,078	
本年度 (H12年度)	110/1,858 0.059	0.059	104,000	202,104 8,000	235,624	
本年度補正後 (H12年度)	0.059	0.059	104,000	+10,021 0	+10,021	
翌年度 (H13年度)	0.061	————	114,000	212,896 8,000	246,416	
計画目標年次 (H13年度)	0.061	————	114,000	————	————	

7 翌年度(H13年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM: Project Portfolio Matrix)

必要概算コスト： 5億円以上 ~ 1億円 ~ 5千万 ~ 1千万 ・ 1千万未満 * 休止・廃止

基本事務事業の成果向上への貢献度合



各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

